

令和 7 年 5 月 1 4 日

学校法人仁多学園
理事長 糸 原 保 様

学校法人仁多学園 監事

森 長 洋 二

学校法人仁多学園 監事

村 尾 明 利

令和 6 年度学校法人仁多学園決算監査報告書

学校法人仁多学園寄附行為第 28 条第 1 項第 2 号の規定により、令和 6 年度学校法人仁多学園の業務並びに財産の状況について、監査を実施したので、その結果について下記のとおり報告します。

記

監査の概要

- (1) 監査の期日 令和 7 年 5 月 1 4 日 (水)
- (2) 監査の場所 島根リハビリテーション学院
- (3) 監査の手続

本監査は理事長から提出された令和 6 年度学校法人仁多学園資金収支計算書をはじめとする財務諸表並びに事業報告書等に表示された計数が、財務内容及び経営の成果を的確に把握処理されているか、また、諸法規、寄附行為に照らし、合法的かつ適正に業務が遂行されているかを確認するため、会計諸帳票、預金通帳等、証拠書類との照合等を行い、実施状況を検証した。

監査の結果

- (1) 決算諸表について

監査に付された決算諸表は、事業の財務状況及び経営の成績が適正に表示されており、その計数は正確に処理されていると認めた。

- (2) 経営の状況について

◎ 入学生の動向

令和 6 年度の入学者数は理学療法学科 29 名、作業療法学科

13名、計42名で、作業療法学科の入学人数が少なかった。また、在籍学生数は204名となり、前年度当初比22名の減となった。

◎ 収支の状況

事業活動収入合計は2億9,636万8千円余(対前年比94.6%)、事業活動支出合計は3億2,016万3千円余(同108.6%)で、基本金組入前当年度収支差額は2,379万5千円余の赤字(前年度1,849万9千円余の黒字)であった。

基本金組入額は1号基本金で、2,353万6千円余である。なお、基本金取崩額は29万3千円余で、内訳は機械室機器の撤去による除却である。

(3) 個別事項

- ① 預金については、取引金融機関の令和7年3月31日現在の残高証明書等により確認した。
- ② 学院の教育活動等の実施状況は令和6年度重点目標達成状況報告書等により確認した。

(4) 総括

学生募集については、さまざまな取組を続けているが、令和5年度より入学人数が減少に転じ、令和7年度の入学生は理学療法学科28名、作業療法学科6名、計34名となり、特に作業療法学科については令和6年度に続き定員を大幅に下回った。今後も18歳人口の減少が見込まれる中で、厳しい状況は続くものと考えられるが、学院では令和6年度半ばから広報を抜本的に強化し、学院の魅力を再整理し、様々な媒体を通じた認知度の向上に向けた取組を開始している。令和7年度には、従来の広報活動に加え、直接高校生に学院の魅力を伝える事業に取り組まれると聞いており、そのような積極的な活動を通じて、入学者の確保に取り組まれない。

令和6年度卒業生の国家試験合格率は、両学科とも100%で、いずれも全国平均を上回ったことは非常に評価できるものであり、合格率100%の維持を目指し、引き続き教員各位の熱意ある指導と努力を期待したい。

以上、監査報告とする。